

ムシガレイ

生態的特徴等

【生態】日本海と北海道南部以南の太平洋から東シナ海～渤海にかけて分布する。本県沖では主に水深 200m 以浅に分布する。2～3 歳で成熟し、産卵期は 2～5 月である。おおむね 4 歳で 20cm を超え、最大で 40cm 程度になる（図 1）。餌は甲殻類、イカ類、魚類などである。

【漁法と盛漁期】主に底曳網で漁獲され、底曳網漁期を通して安定して漁獲される。平潟、大津、久慈、那珂湊漁港などで水揚げが多い。

【利用】干物や焼き魚、煮付け等で利用される。

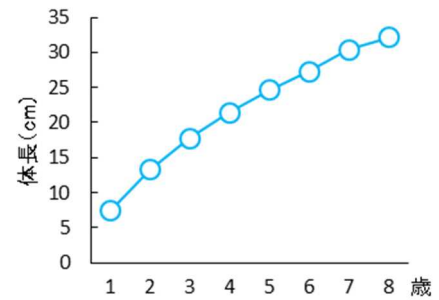


図 1 ムシガレイの成長

資源水準は中位で推移

（漁獲量）H20 年までは 3～21 トンの漁獲量で推移したが、H25 年に 39 トンを超えてから急激に増加した。H28 年に 100 トンを超えた後は減少傾向となり、R6 年は 44 トンであった（図 2）。

（水準と動向）資源水準は、過去の底曳網（小底 5t 以上）の漁獲量から計算した CPUE (kg/隻日) の推移（図 3）から「中位」、動向は、直近 5 年間の CPUE の傾向から「減少」とした。

水 準



動 向

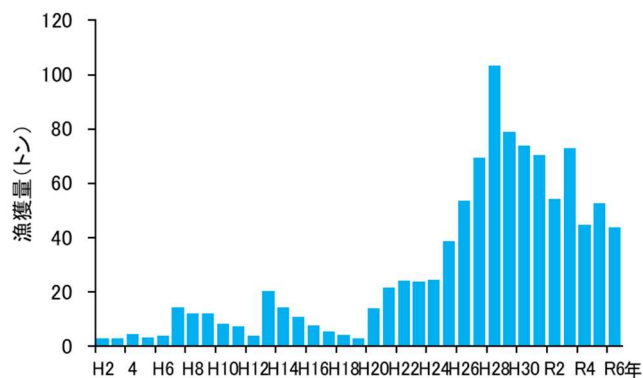


図 2 ムシガレイの漁獲量(水試システム 属地集計)

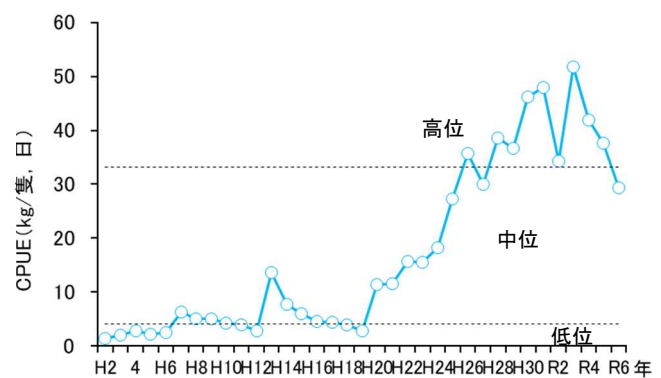


図 3 ムシガレイの CPUE(底曳網)

【全国の漁獲動向】

茨城県以外の主な産地は、長崎県、島根県など。